

2025年度年間指導計画

		園長		主任	記録者	
【2歳児】					稲垣南穂・上野郁	
年間目標	子どもの姿	園目標		評価・反省		
期	1期（4月～5月）		2期（6月～8月）	3期（9月～12月）	4期（1月～3月）	
行事	身体測定、避難訓練、誕生会、入園式、こいのぼり集会、内科健診		身体測定、避難訓練、誕生会、七夕集会、夏まつり、懇談会、水遊び、歯科健診	身体測定、避難訓練、誕生会、内科健診、運動会、クリスマス会、ハロウィーン	身体測定、避難訓練、誕生会、節分集会、生活発表会、ひな祭り集会、お別れ会、卒園式	
ねらい	・保育者に見守られ、安心して過ごす中で、新しい環境や生活に慣れる。 ・自分の好きな遊びを楽しんだり、友だちの遊びに興味をもったりする。		・保育者に見守られ、安心して過ごす中で、新しい環境や生活に慣れる。 ・保育者に手伝ってもらいながら身の回りのことをしようとする。 ・水や砂、土などに触れ全身を使って楽しむ。	・保育者の言葉掛けで身の回りのことを自分でしようとする。 ・生活や遊びの中で保育者が仲立ちとなり友だちとのやりとりを楽しむ。 ・簡単なきまりや約束を守る。	・基本的生活習慣が身に付き、進級への期待をもって生活する。 ・冬の自然に親しみ、ごっこ遊びや集団遊びを楽しむ。 ・簡単なきまりや約束を守る。 ・生活や遊びの中で表現する喜びを味わう。	
養護	生命情緒	・感染症防止のため、手洗い、消毒など行い一人ひとりの健康状態や生活リズムを把握し、健康に過ごせるようにする。 ・汗をかいたらシャワーで流し、清潔に過ごす。心地良さを感じる。 ・不安や欲求を保育者に受け止めてもらい、安心して生活する。	・夏季の保育衛生や健康状態に気を配り、水分補給や休息など活動のバランスに配慮する。 ・子ども一人ひとりの気持ちを受け止めて安心して自我を表現する。 ・子ども一人ひとりの手洗いを見守り、援助しながら正しい習慣が身に付くようにする。	・気温の変化に合わせて室温や衣服の調節をし、健康で快適に過ごす。 ・子ども一人ひとりの気持ちを受け止め、安心して自己主張をする。	・子ども一人ひとりの手洗い・うがいを見守り正しい習慣が身に付くようにする。 ・やりたいこと、やってみたいこと、感じたことを言葉に出し、保育者や友だちと一緒に楽しんだり、共感することで自己肯定感をもてるようにする。	
教育	言葉健康	・室内や戸外でのびのびと体を動かして遊ぶ。 ・オムツで排泄したことを伝え交換したりトイレで排泄できたことを喜び気持ち良さを感じる。 ・保育者の言葉掛けでトイレに行き見守られながら排泄をする。 ・保育者に甘えや不安を受け止めてもらいながら安心して自分の気持ちを表す。 ・保育者や友だちと一緒に見立て遊びやごっこ遊びをする中で少しずつ言葉のやりとりを楽しむ。 ・保育者に絵本や紙芝居を読んでもらうことを喜ぶ。 ・保育者とかかわりながら簡単な挨拶や生活に必要な言葉を知り伝えようとする。 ・自分のしたいことや、して欲しいことを簡単な言葉や仕草で伝えようとする。 ・のりづけやスタンプ、お絵描きなど色々な素材に触れる。 ・保育者と一緒に歌を歌ったり手遊びをしたりして楽しむ。 ・遊びや生活の中で様々な形や色に興味を持つ。 ・ちぎったり丸めたり型にはめたり指先を使った遊びを楽しむ。 ・好きな歌や手遊びを歌って楽しむ。 ・小麦粉粘土など様々な感触に触れる。（小麦粉、寒天等） ・砂遊びを通し砂の感触を味わう。 ・リズムや体操などの表現遊びを保育者と一緒に楽しむ。	・水遊びや戸外遊びで全身を使って遊ぶ事を楽しむ。 ・オムツで排泄したことを伝え交換したりトイレで排泄できたことを喜び気持ち良さを感じる。 ・保育者に見守られたり手伝ってもらったりしながら衣服の着脱を自分でしようとする。 ・春の草花や虫など、自然物を観たり触れたりする。 ・水や砂、土などの感触を味わいながら、全身を使って夏の遊びを楽しむ。 ・自分のしたいことや、して欲しいことを簡単な挨拶や生活に必要な言葉を知り伝えようとする。 ・のりづけやスタンプ、お絵描きなど色々な素材に触れる。 ・七夕や夏祭りなどの行事に親しむ。 ・好きな歌や手遊びを歌って楽しむ。 ・小麦粉粘土など様々な感触に触れる。（小麦粉、寒天等）	・巧技台や遊具などを使って全身を動かし運動遊びを楽しむ。 ・尿意や便意が分かり、自らトイレに行って排泄しようとする。 ・パンツやズボンの脱ぎ履きを自分で行う。 ・同じ場で遊ぶ友達の気持ちを知り、遊具や玩具を貸したり、順番を守り交代したりして遊ぼうとする。 ・保育者と一緒に服を畳んだり、うがいをして身の回りの簡単なことを身につけていく。 ・保育者や友だちといういろいろなやりとりを楽しむ中で言葉を感じる。 ・戸外遊びや散歩を通して、落ち葉や木の実などを集めたり、それらを使って遊んだりして秋や冬の自然を楽しむ。 ・生活に必要な言葉が分かり、様々なことに関心をもつ。 ・身近な素材や用具に親しみ、描いたり切ったり作ったりを楽しむ。 ・絵本の中の登場人物になりきって体を動かしたり、台詞を言ったりすることを楽しむ。 ・のり、クレヨンなどの材料や用具を使い、自分なりに表現する。 ・光・雲・影などの自然現象に興味を持ち、発見や観察など遊びにつなげて楽しむ。 ・年上の友だちと関わり新しい遊び方を知り、イメージを共有し楽しむ。 ・のりづけやスタンプ、お絵描きなど色々な素材に触れる。	・保育者や友だちと一緒に簡単なルールのある集団遊びを楽しむ。 ・トイレでの排泄に自信を持ち、トイレの使い方を覚えて、正しく安全衛生的に使う。 ・手洗い、うがい、衣服の着脱など、身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育者や友だちと一緒にごっこ遊びや伝承遊びをして楽しむ。 ・氷、霜、水の冷たさなど冬の自然に興味や関心をもち、見たり、触れたりする。 ・思ったことや感じたことを身振り手振りを交えながら言葉で伝えようとする。 ・経験したことや興味のあることを保育者や友だちと表現して遊ぶ。 ・のりづけやスタンプ、お絵描きなど色々な素材に触れる。 ・自分の思いを表しながらも、相手の表情などを見て相手の思いにも気づこうとする。 ・年上の友だちとの関わりの中で憧れや挑戦してみようとする気持ちが芽生える。 ・様々な遊びの中で、「〇〇したい」と選択し遊びを見つけようとする。 ・絵本の中の登場人物になりきって体を動かしたり、台詞を言ったりすることを楽しむ。 ・一回切り等ではさみに触れ親しんでいく。 ・のり、はさみ、クレヨンなどの材料や用具を使い、自分なりに表現する。 ・年上の友だちと関わり新しい遊び方を知り、イメージを共有し楽しむ。	
	表現関係環境					
環境構成		・安心して生活できるよう、ゆったりとした生活リズムと雰囲気づくりをする。 ・子ども一人ひとりが好きな遊びを見つけられるようコーナーを作ったり、色々な種類の玩具などを用意していく。 ・散歩などで春の自然に親しむ機会をつくと同時に図鑑や絵本等を通して興味、関心が継続するよう工夫していく。 ・身の回りのことを自分でしようとする気持ちを大切に、さりげない援助をする等して達成感が味わえるようにしていく。 ・子ども1人1人に合った時間配分で活動出来るよう、時差をつけながら援助していく。	・子ども一人ひとりの生活リズムや健康状態を把握し、水分補給や休息をとる。また、適切な気温、湿度を保つ。 ・子どもの興味に合わせた玩具や素材を十分に用意し、じっくり楽しめるようにする。 ・個々の排泄のタイミングや様子に応じて誘い方の工夫をしていく。 ・七夕や夏祭りなどの行事に親しめるよう環境設定を行う。 ・くり返し遊びを楽しむ中で子どもの気づき、発見や驚きに寄り添い言葉をかけながら共感する。	・巧技台を組み合わせ発達に適した環境を設定する。 ・子ども同士のやりとりを大切に、ぶつかり合いを経験しながら相手の気持ちに気付いたり、考えたりできるように一緒に考えながら関わる。 ・子どもの表現しようとする気持ちを受け止め、満足感を得られるようにする。 ・好きな遊びを選択していけるようどういう遊びがあるのかなど提案していく。 ・くり返し遊びを楽しむ中で子どもの気づき、発見や驚きに寄り添い言葉をかけながら共感する。	・手洗い・うがいの大切さややり方を知らせる機会をもつ。 ・子どもが興味を持ちそうな発達に合った集団遊びを取り入れる。 ・子どもの発見や驚きに耳を傾けて共感しながら言葉にして伝え、体験が深まるようにする。 ・模倣遊びなどが発展するように小道具などを十分に用意して遊びのイメージを広げる。 ・幼児クラスの友だちと関わりを増やしていく。 ・くり返し遊びを楽しむ中で子どもの気づき、発見や驚きに寄り添い言葉をかけながら共感	
支援者		・園での様子を伝えていき、信頼関係を深めていく。 ・支度の変更点など分かりやすく口頭や掲示で伝えていく。	・日々子ども達の様子を伝えあい夏の時期の体調管理についても知らせていく。 ・子どもが自分で着脱しやすい衣類を用意してもらう。 ・トイレトレーニングやトイレでの排泄状況を伝え、家庭での様子も聞いていく。	・子ども同士のトラブルがあった場合、その時の様子や対応などを丁寧に伝え、園での様子を知ってもらう。 また、家族での様子も聞き共有していく。 ・体調や氣候に合わせて調節しやすい衣服を用意してもらう。 ・トイレトレーニングやトイレでの排泄状況を伝え、家庭での様子も聞いていく。 ・エプロンの枚数の変更点など口頭やメモにして伝えていく。	・発達や成長の様子を伝え、喜び合いながら不安なく進級できるように連携していく。 ・インフルエンザやコロナウィルスの感染状況を知らせる。 ・トイレトレーニングやトイレでの排泄状況を伝え、家庭での様子も聞いていく。 ・エプロンの枚数の変更点など口頭やメモにして伝えていく。	
食育		・子ども一人ひとりの好き嫌いや食べる量を把握し、子どもの様子を見ながら量の調節をしていく。 ・保育者や友だちと楽しい雰囲気の中で食事をする。 ・野菜の図鑑や様々な食べ物が出てくる本などを読み、食べ物への親しみを育てるようにする。 ・プランターでの栽培をして夏野菜に親しみを持つ。 ・食事の前後の挨拶をする。	・楽しい雰囲気の中で食べ物に関心を持ち、スプーンやフォークを使ったり、正しく椅子に座ったりして自分で食べようとする。 ・遊びの中でも食材に触れていく。 ・野菜スタンプでの製作を取り入れ、本物を見たり触ったり嗅いだりする。 ・プランターでの栽培をして夏野菜に親しみを持つ。 ・プランターの花や植物に水をやり大切に育てる気持ちを持つ。 ・姿勢を正しながら、落ち着いて食事をしたり自分で食べようとしたりする。	・様々な食材に触れ食への関心を高めていく。 ・スプーンやフォークの持ち方、食器に手を添えることを覚え意欲的に食べる。 ・苦手な食材も小さくしたり、一口頑張ろうと励ましつつ、食べてみようとする。 ・プランターでの栽培を通して冬野菜に親しみをもち、育てた喜びや達成感を味わう。 ・自分で食べられる量を伝え、完食の喜びを味わう。 ・自分達で野菜などを栽培し、育ていく喜びを共有する。	・食事のマナーや正しいスプーンやフォークの持ち方が習慣づいていくようにする。 ・苦手な食材も励ますと食べられるようになる。 ・エプロンがなくなり、テーブルや床に食べこぼしがないように食事を心掛ける。 ・プランターでの栽培を通して冬野菜に親しみをもち、育てた喜びや達成感を味わう。	